

PG簡易マニュアル

2010/3/10
Y.Matsuki

PG使用準備

0.マスクデータの用意

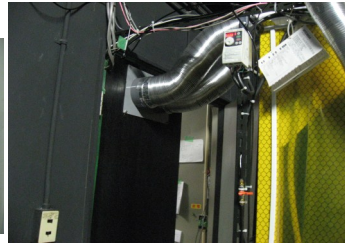
T36ファイルに変換したファイルの用意(ASM2600マニュアル参照)

1.イエロールーム外の準備

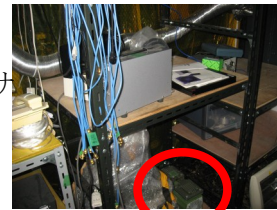
a.窒素がんに用N₂ボンベの準備

b.コンプレッサのラインのバルブを開ける(コンプレッサはブース1 常時ON)

c.真空ポンプON



コンプレッサ
バルブ



真空ポンプ

2.イエロールーム内の準備

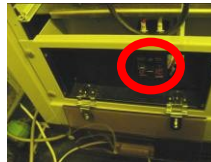
水銀灯ランプの点灯(埃が入らないよう素早く)

ここで水銀灯が安定するまで

30分待機

3.PGコントローラの主電源ON

本体下のブレーカー



主電源ブレーカー



4. I/Fボード初期化開始

モニタ表示

光源ユニットの準備をしてください

⇒ 水銀灯の安定を待つ

モータドライバの電源を入れてください

⇒ 次へ

5.モータドライバの電源ON

原点調整が開始される

(たまにとまることがあるので、その場合はやり直し)



コントローラパネル

6.DOSプロンプトの表示

F5を押す

7.ファイルの転送(MOドライブはc:)

A:¥TZ220DATディレクトリへファイルを転送

例: A:¥>COPY C:¥ファイル名.T36 A:¥TZ220DAT¥ファイル名.DAT

returnで決定

マスクデータをすべて転送するまで7を繰り返す

8.転送の終了

EXITと入力



10.マスクの作成

F1を押し、ATへ

11.JOBファイルの選択

JOBファイル名を入れる

本当によいか確認されるのでよければy (return)



12.JOBファイルの内容変更

「1」を選択してマスクデータのファイル名を指定する

例：D4.T36ならばD4に変更する

他の項目は変更する必要なし

変更後F10を押し次へ



13.マスクデータの読み込み

ここで読み込めない場合 ⇒ マスクデータの見直し(α-sx)

マスクデータの指定範囲を超えていることが考えられる

読み込めればF10で次へ

14.露光量・照度計測定値の設定

最適地になっているので変更しない

F10で次へ



15.マスクの設置

ステージの吸着確認をされる
ブランクマスクをセットして
吸着ボタンで吸着



吸着ボタン

16.露光

露光を開始してよいか確認されるので、よければyを押して露光開始



17.使用簿に使用者名、マスクのショット数、温・湿度、日時を記入

18.たち下げ

露光終了後吸着ボタンを押し吸着をなくしマスクを外す

19.コントローラたち下げ

モータ電源横の非常停止ボタンを押す
主電源OFF

モータ電源



非常停止ボタン

20.水銀灯OFF

その後30分冷却のため使用禁止

コントローラーパネル